



展覧会名：「絵に成る暮らしとあの光」

作家名：幸田千依

会期：2024年4月19日（金）～2024年5月18日（土）

営業時間：11:00-18:00（火-土）

休廊日：日・月・祝 [但し、5/3（金/祝）と5/4（土/祝）は営業]

○ オープニングレセプション：4/19（金）17:30-19:30

LOKO GALLERY では、2024年4月19日より年5月18日まで、
幸田千依 個展「絵に成る暮らしとあの光」を開催いたします。

幸田千依
Chie Koda
絵に成る暮らしと
あの光

アーティストステイトメント

「絵に成る暮らしとあの光」

「絵に成る暮らし」という言葉を思いついたのは、2016年に熊本の津奈木町で滞在制作をしていた時のことだった。

私の中で暮らし方（生き方）こそが絵を見出していくという自然な実感から出た言葉だ。

その時から現在に至るまで、絵に成る暮らしはどこにいても続いている。

2019年に息子を出産した後しばらくの間、私はこれまで感じたことのない感覚に毎晩涙を流していた。その感覚を言葉で表すことはとても難しかったが、どうにかして記憶しておかなければすぐにでも忘れてしまうような気がしていた。

イメージでなら記憶しておくことができるかもしれない。そう思った私は、その漠然とした感覚を言葉ではなく一枚の絵に残そうと思った。恐る恐る、感覚になるべく近くなるよう描いたそのイメージは、ほとんど白黒の色彩の中に白く光る光源があり、その光を宇宙船の暗い窓から見ているような絵に成った。その光が何なのかはわからないが、とにかくハッと気がついた時にはもう私はそこから切り離されていて、窓越しに見るその光の中に戻ることはできない、ということが悲しかった。上手く表せたかはわからなかったけれど、そのイメージはずっと頭の片隅にあり続いていた。

時は流れ、私は今息子と絵に成る暮らしの中にいる。

産後に畑を始めてから、全てが連なって影響し合うことに感動し、息子が何も教えなくともタネのようにプログラムされた速度と方法で生きているのに感動し、新しい生の視野がひらかれた。

巡りくる季節に合わせて自分の心と体も入れ替わっていくことを実感して、流れ続ける今と、そこに含まれる次の予感に勇気を得て暮らしている。

その反復の営みの中、どうしても留め伝えたいとふいに手を伸ばし掴んでしまうものがいくつかの絵に成った。

毎日見る家の窓。

息子といく畑。

母の家で午睡から目覚めて、隣に息子が寝ているのを見たときの不思議な感覚。

LOKO GALLERY の一角を間借りして公開制作をした時、人が同じ空間の中に居合わせるだけで起こる様々な相互作用の煌めき。

それらここ最近の暮らしの中から出てきた絵とは別に、息子が生まれる前から描き進めては何度も中断し、出産を経て構図やモチーフがガラッと変わりながらも、何か一つのイメージを追って描き続けてきた絵がある。

初めは夜の街の光の絵だったのだが、産後新たに描き直す時、黄昏時の畑の光の絵に変わった。

そしてそれは、あの光だった。遠ざかってしまってもう触れることのできないと思っていたあの光を、畑にいるときに見つけたのだ。絵を描く行為の中でそのことに気がつき、絵に成る暮らしの一枚一枚の絵の中にも、いつもあの光があったとわかった。それは風景の形を借りた、あの光の反射光だ。色彩からの伝言だ。

そして今、一番近くにいる息子の姿にもまた、あの光の温度を感じている。

幸田千依

幸田千依 Chie KODA

1983 東京生まれ長崎市育ち

2007 多摩美術大学絵画学科油画専攻卒業

受賞歴

2017 VOCA 展 2017 現代美術の展望—新しい平面の作家たち VOCA 賞受賞

主な個展

2022 「ひとつの窓と11枚の絵」 LOKO GALLERY / 東京

2018 「より道の灯」 LOKO GALLERY / 東京

2017 「幸田千依展」 コパヤシ画廊 / 東京

2013 「Focusing on everything / 絵のまえで会いましょう」 BankART NYK / 神奈川

2008 「しゃらくせえ！ファンタジア」 ギャラリー代々木 / 東京

主なグループ展

2024 「あたらしく、うまれる 一子を育てるアーティストの日々の創造—」 アートルーム企画室 / 東京

2023 「VOCA 30 YEARS STORY / KOBE」 / 兵庫

2023 「ところざわ アートのミライ」 / 埼玉

2020 市制施行70周年記念事業「ところざわアートの潮流」 所沢市民文化センター・ミュージズ ザ・スクエア / 埼玉

2020 「場所の記憶 想起する力」 アーツ前橋 / 群馬

2020 「つなぎだょ！全員集合」 つなぎ美術館 / 熊本

2020 「TOKYO★VOCA」 第一生命ロビー / 東京

2017 「VOCA2017 現代美術の展望—新しい平面の作家たち」 上野の森美術館 / 東京

2015 混浴温泉世界 2015 「わくわく混浴デパートメント」 / 大分

2015 「アートと都市を巡る横浜と台北」 BankART NYK / 神奈川

2014 「磯部湯活用プロジェクト報告展」 アーツ前橋 / 群馬

2013 「ハギエンナーレ2013」 HAGISO / 東京

2012 「Power of a Painting 一枚の絵の力」 日和アートセンター / 宮城

2011 「Power of a Painting 一枚の絵の力」 3331arts chiyoda / 東京

2010 「眼差しと好奇心 vol.6」 MIZUMA ACTION / 東京

2009 混浴温泉世界 2009 「わくわく混浴アパートメント」 / 大分

2009 「大開眼界」 Soka art center / 台北

主な活動

2023 「今、絵のまえで会いましょう」（公開制作） LOKO GALLERY / 東京

2022 「空と競馬場」 公開制作 84 府中市美術館 / 東京

2021 「River to River 川のほとりのアートフェス」（アートプロジェクト） / 群馬

2021 「MIND TRAIL 奥大和 心のなかの美術館」（アートプロジェクト） / 奈良

2017 「六本木アートナイト 2017」（アートプロジェクト） 三河台公園 / 東京

2016 「アーティスト・イン・レジデンス つなぎ2016」 つなぎ美術館 / 熊本

2015 「ARKO2015」（アーティストインレジデンス） 大原美術館 / 岡山

2014 「こうふのまちの芸術祭2014」（アートプロジェクト） / 山梨

2014 「非の無い処に煙を立てる。」（アートプロジェクト） 拝借景 / 茨城

2013 アーツ前橋「磯部湯活用プロジェクト」（アートプロジェクト） / 群馬

2013 「こうふのまちの芸術祭2013」（アートプロジェクト） / 山梨

2013 「土湯アラフドアートアニュアル2013」（アートプロジェクト） / 福島

2013 「石巻四次元横町」（アートプロジェクト） / 宮城

2012 「歩く絵のパレード in 寿町」（アートイベント） / 神奈川

2012 「歩く絵のパレード in 石巻」（アートイベント） / 宮城

2012 BankART 妻有（アーティストインレジデンス） / 新潟

2012 台北国際芸術村（アーティストインレジデンス） / 台北

2011 「寿から絵を放つ」（アーティストインレジデンス） / 神奈川

2011 「KASHIMA2010」（アーティストインレジデンス） / 大分

2010 「KOTOBUKI CREATIVE ACTION 寿合宿（秋）」（アートプロジェクト） / 神奈川

2010 「わくわく KYOTO」（アートプロジェクト） / 京都

2009 「甌島で、つくる2009」（アートプロジェクト） / 鹿児島

